

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第210号

〔2025年2月3日発〕

満員御礼！オペラコンサートの報告

作業療法室 小林 崇志



2024年12月6日、作業療法室にてオペラコンサートが開催されました。今回は入院患者さん中心のご案内でしたが、あっという間に満席に。スタッフもかわるがわる来所しては、その煌びやかな歌声にひたりました。かくいう私も「オペラの声ってこんなにも身体に、いや、心に響いてくるのか・・・！」と魅せられ、参加者の様子を確認するのも忘れていました。約40分、本当にあっという間の時間。クリスマスのスタンダードナンバーをはさみながら、いよいよ最後の楽曲－「アメイジング・グレイス」。色々な思いが湧きおこりつつ？うっとりとして聴かせて頂き、拍手喝采のもとで幕を閉じました。

さて、ここからちょっとした裏話を・・・？今回のコンサートは、ある職員のつながりから開催に至りました。自分のもつものをどこかで発揮する機会がないか、そんな話があったとか。受け入れる側としてはとっても贅沢だったなと感じます。本当にありがとうございます。

そしてこの素敵なポスター！こちらは入院患者さんが作ってくれました。素敵！ワクワクするようなデザインに引き寄せられた方も多かったのではないのでしょうか。感謝です。1つの催しをするために多くの方が関わってくれたこと、これが今回の満員御礼につながった一因だと感じます。次回もぜひ！とお願いしてありますので、またワクワクしながらその時を待ちたいと思います。



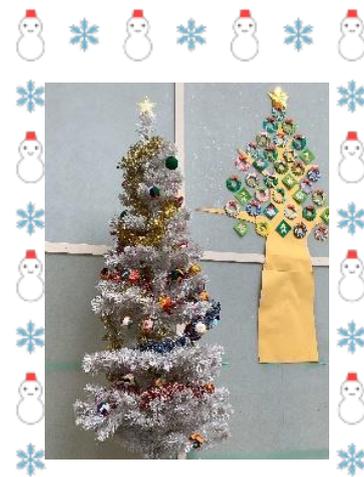
「みんなで作る」デイケア クリスマス会

リハビリテーションセンター 五十嵐 美紀

今年もデイケア向上委員会(デイケアで毎週月曜午後に行われているプログラム)企画で、クリスマス会が行われました。今年のクリスマス会のコンセプトは「みんなで作る」で、12月23日の当日だけではなく、クリスマスの雰囲気をもたらし、リースとオーナメントを作るワークショップが12月9日から3日間行われました。

ワークショップは多くの方が参加し、個性あふれる素敵な作品がデイケア中に飾られました。当日はビンゴ大会、クイズ大会、じゃんけん大会、英会話グループによる合唱、演奏会等、盛りだくさんでとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。クイズ大会は向上委員会メンバーNさんのオリジナル問題で、「東京でクリスマスマーケットが開催される観光名所はどこでしょうか?①明治神宮外苑②隅田公園(浅草)③代々木公園」等の問題が出されました(答えは③!). 演奏会では、フルートやエレキギター、デイケアではおなじみのカラオケ名人2名のクリスマスソングがあり、クリスマス会を盛り上げてくれました。

デイケア向上委員会の皆さん、ありがとうございました。



デイケアコラム リハビリについて

11月号では、実行委員会方式についてお話をさせていただきました。デイケアでは実行委員会方式にも通じる大切にしている考え方があります。

皆さんは、「リハビリ」という言葉をご存じでしょうか。日本語にすると「回復」ですが、デイケア等の回復施設で使われる場合は、「障害があってもなお、十分な生活を主体的に生きていく過程」を意味します。リハビリは「客観的リハビリ」と「パーソナル・リハビリ」に分けられ、前者は幻聴がなくなる、眠れるようになるといった医学的なリハビリが含まれます。後者のパーソナル・リハビリは、夢や希望が持てる、自分らしくいられる、自己選択ができる等主体的なものになります。そのためは、仲間がいて、自分の目指すロールモデルに出会えること、過去・現在・未来の感情を整理できること等が必要になります。一人一人のリハビリを大切に、支援できる場であり続けるため、デイケアでは様々な取り組みをしています。機会があれば、通所者の方のリハビリストーリーも紹介出来たらと考えています。

リハセンターHP

<https://square.umin.ac.jp/skrc/>



2024 年度 烏山病院忘年会

事務課 鈴木 風太

12月23日に烏山病院の忘年会を開催いたしました。
新型コロナウイルスの流行により長らく開催されておりましたが、感染状況を鑑みて4年ぶりに開催しました。
久しぶりの開催にも関わらず、医師、看護師、精神保健福祉士、心理師、事務職員など40名以上の参加がありました。



病院長の乾杯の挨拶から始まり、用意された料理を囲みながら、職種の垣根を越えた職員同士の交流の場となりました。病院内でも顔を合わせることの少ない部署の方と話す数少ない機会であり、とても新鮮な体験でした。

会の途中に、10月18日（金）に行われた院内学会の優秀発表者と夏から募集していた烏山病院ホームページのバナー写真をご提供いただいた方への表彰並びに賞金の授与を行いました。

ご提供いただいた写真は、どれも烏山病院の様子が見える素敵な写真ですので、是非ホームページのバナー写真をご覧ください。

昨年度の締めくくりとして、大変有意義な会となりました。



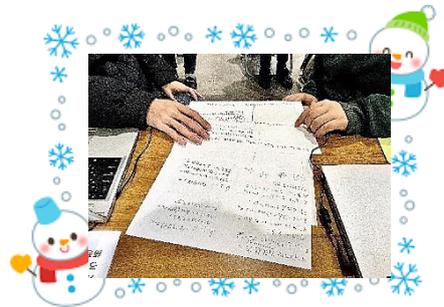
デイケア活動

Aさん

今回は委員会活動プログラムについて紹介します。このプログラムは週に一回開催されており、三つの班に分かれてそれぞれ活動を行っています。私が参加している班は、掲示物の作成や消耗品の補充、施設の清掃活動などを担当しています。活動はそれほど難しいものではなく、取り掛かりやすいものがほとんどです。仮に苦手なことがあったとしても、ほかの参加者と協力し分担することができるので問題ありません。わからないことはプログラムの経験者やスタッフの方に質問することで解決できます。このプログラムでは他の参加者と話し合うことで、活動の計画や分担を決めます。隣にいる人と協力しながらの活動は、楽しみながら参加でき、また達成感もあります。私も毎週委員会活動に参加するなかで、人と関わりながら作業をすることを楽しむようになりました。初めてでわからないことや失敗することもあります。周りの人の協力でカバーすることができています。もう少し慣れてきたら私もフォローできるようになりたいです。(A)

《12月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数	8,712(8,300)	6,406(6,197)
◇一日平均患者数	281.0(276.7)	266.9(269.4)
◆診療実日数	31(30)	24(23)



総合サポートセンター ～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時
土曜日 8時30分～13時
電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時
土曜日 8時30分～12時
◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。こちら当院のホームページのQRコードとなります。



【編集後記】

2月のあおぞらは、クリスマス会、烏山忘年会など、年末の催しが掲載され、一年を締めくくる内容になっています。新年を迎え早いもので既に2月になり、寒空の合間に春を感じる気候になってきました。2月を表す「如月(きさらぎ)」は、寒さが厳しく、更に衣を重ね着する意味をもっています。また、別の読み方で(によげつ)とも言われ、寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期とされています。新年度に向かって気持ち新たに迎えられるよう、しっかり準備していきましょう。

(広報委員 山本 猛)



烏山病院精神医学講座インスタグラムが開設されました。随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

